

令和5年度 事後評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	都市計画道路 池上下宮線 街路事業																										
担当部署	都市整備部 道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）																										
事業箇所	和泉市伯太町4丁目																										
事業目的及び事業内容	<p>【事業目的】 本路線は、和泉市中央部と泉大津市の臨海部を東西に結ぶ主要幹線道路であり、国道26号及び主要地方道大阪和泉南線と接続することにより、広域的な幹線道路ネットワーク機能の強化と防災機能の強化を図ることを目的としている。また平成22年度に整備した和泉市施行の道路と接続することで、広域緊急交通路である国道26号及び主要地方道大阪和泉南線から、陸上自衛隊駐屯地へのアクセス性が向上し、緊急時の救援活動等に寄与する。</p> <p>【事業内容】 街路築造工 事業延長：0.4km 道路幅員：20.0m～23.0m 車道：2車線〔3.0m×2〕 自転車歩行者道：両側〔3.5m×2〕</p>																										
関連事業とその現状	—																										
社会経済情勢の変化	<p>【本路線の状況】 平成30年5月 供用開始</p> <p>【周辺交通の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>供用前 (H27 交通量調査)</th> <th>供用後 (R3 交通量調査)</th> <th>増減 (R3 - H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(国) 480号</td> <td>11,636台/24h</td> <td>11,372台/24h</td> <td>△264台/24h</td> </tr> <tr> <td>(主) 泉大津美原線</td> <td>29,435台/24h</td> <td>23,787台/24h</td> <td>△5,648台/24h</td> </tr> <tr> <td>(主) 大阪和泉南線</td> <td>8,077台/24h</td> <td>10,513台/24h</td> <td>+2,436台/24h</td> </tr> <tr> <td>(国) 26号</td> <td>72,785台/24h</td> <td>61,803台/24h</td> <td>△10,982台/24h</td> </tr> <tr> <td>(主) 富田林泉大津線</td> <td>11,729台/24h</td> <td>12,655台/24h</td> <td>+926台/24h</td> </tr> </tbody> </table>			路線名	供用前 (H27 交通量調査)	供用後 (R3 交通量調査)	増減 (R3 - H27)	(国) 480号	11,636台/24h	11,372台/24h	△264台/24h	(主) 泉大津美原線	29,435台/24h	23,787台/24h	△5,648台/24h	(主) 大阪和泉南線	8,077台/24h	10,513台/24h	+2,436台/24h	(国) 26号	72,785台/24h	61,803台/24h	△10,982台/24h	(主) 富田林泉大津線	11,729台/24h	12,655台/24h	+926台/24h
路線名	供用前 (H27 交通量調査)	供用後 (R3 交通量調査)	増減 (R3 - H27)																								
(国) 480号	11,636台/24h	11,372台/24h	△264台/24h																								
(主) 泉大津美原線	29,435台/24h	23,787台/24h	△5,648台/24h																								
(主) 大阪和泉南線	8,077台/24h	10,513台/24h	+2,436台/24h																								
(国) 26号	72,785台/24h	61,803台/24h	△10,982台/24h																								
(主) 富田林泉大津線	11,729台/24h	12,655台/24h	+926台/24h																								
事業実施による自然環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> 特筆すべき自然環境への影響はない。 																										
最終評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—																										

2 事業効果の分析等

	最終評価時点 H25	事後評価時点 R5	変動要因の分析
事業費	22.3 億円 〔国：12.3 億円、府：10.0 億円〕	14.4 億円 〔国：7.9 億円、府：6.5 億円〕	・事業費（用地補償費）の精算による減。
経過 ①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	① 17 年 ② H12 年度 ③ H16 年度 ④ H28 年度	① 19 年 ② H12 年度 ③ H16 年度 ④ H30 年度	・用地交渉に時間を要したことによる完成年度の遅れ。
定量的効果 (費用便益分析等)	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行時間短縮便益 43.5 億円 ・走行経費減少便益 10.6 億円 ・交通事故減少便益 3.7 億円 <p>【分析結果】 B/C=3.03 B=57.8 億円 C=19.1 億円</p> <p>【算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省「費用便益分析マニュアル（平成 20 年 11 月）」により算出。 ・H17 交通センサスの R12 年（2030 年）将来交通量推計値により算出。 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路利用者 ・沿道住民 	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行時間短縮便益 72.5 億円 ・走行経費減少便益 17.8 億円 ・交通事故減少便益 5.8 億円 <p>【分析結果】 B/C=4.38 B=96.1 億円 C=21.9 億円</p> <p>【算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省「費用便益分析マニュアル（令和 4 年 2 月）」により算出。 ・H17 交通センサスの R12 年（2030 年）将来交通量推計値により算出。 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路利用者 ・沿道住民 	・費用便益分析マニュアルの改訂及び評価基準年、供用開始年度の変更による。
事業効果の定性的分析 (安全・安心、活力、快適性等の有効性)	<p>【安心・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩車道分離による歩行者等の交通安全の確保。 ・陸上自衛隊駐屯地から広域緊急交通路（国道 26 号、主要地方道大阪和泉泉南線）へのアクセスルートの確保、防災機能の向上。 <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間交流の強化。 ・物流の効率化の支援。 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路利用者 ・地域住民 	<p>【安心・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩車道分離による歩行者等の交通安全の確保。 ・陸上自衛隊駐屯地から広域緊急交通路（国道 26 号、主要地方道大阪和泉泉南線）へのアクセスルートの確保、防災機能の向上。 <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間交流の強化。 ・物流の効率化の支援。 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路利用者 ・地域住民 	・初期の目的を達している。

その他特記事項	—
---------	---

3 評価結果と今後の同種事業に対する改善措置等

<p>評価結果 (事業効果の発現 状況等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺道路である、国道 480 号や主要地方道泉大津美原線からの交通転換が図れられており、本路線と連続する主要地方道富田林泉大津線の交通量は、R3 交通量が H27 交通量に比べて約 1,000 台増加している。また、本路線にて R3 交通量が推計交通量を約 3,000 台上回っていることから、計画よりネットワーク機能が強化されている。 ・ 和泉市施行の市道と接続することで、陸上自衛隊駐屯地から広域緊急交通路である国道 26 号と主要地方道大阪和泉泉南線へのアクセス性の向上が図られ、防災機能強化が図られた。
<p>今後の同種事業に 対する改善措置等</p>	—

